

一般質問
6議員登壇

市政を問う

市長選を

どう受け止めるか

市長／市民は私の考えを支持してくれた



徳峰 一成 議員

徳峰議員 五位塚候補への8836票は、池田市政への批判票ではなかったのか。

池田市長 相手候補がいる場合、お互いそのようなとらえ方になるのではないか。

問 高齢者の多くは、敬老祝い金は70歳以上の全員支給か、それとも市長の手直し案か、どちらを支持しているとお考えか。

市長 市長選挙で私は再選された。私の考えている支給方法が市民に支持されたと思っている。

問 市長の4年ごとの1

680万円の退職金についても、選挙では市民の批判が強かったのではないか。

市長 全国どこの市町村でも、市長の退職金制度はある。今後も続ける方向でいきたい。

問 病院等の不在者投票で、不正が発覚して逮捕者が出た。市長やご家族あるいは運動員は、市長選挙や衆議院議員選挙で不在者投票の依頼を病院等にされたことはないか。

またこのことで警察から取り調べを受けたことはないか。

市長 お願いしたことはない。取り調べを受けたこともない。

問 今回起きた事件の教訓の一つは、不在者投票所に市選挙管理委員会職

員を派遣しなかったことではないか。

川下選挙管理委員長 今後、委員会で検討したい。

新型インフルエンザ対策は

問 市の取り組みには、対策のための組織と体制、市民への広報と啓発、弱者対策など解決すべき課題がみられるが。

大休寺保健福祉課長 ご指摘の点は、今後視野に入れて取り組みたい。

実行されていない諸課題のその後は

問 大隅北小、恒吉小、財部中など耐震化対策が遅れている学校については、早急に市の計画を議会に示すべきではないか。

植村教育長 できるだけ早く具体策を示したい。

問 池田市政になってから、街路灯設置はわずかな数所しかないし、非常に取り組みが弱い。それは設置計画がないからではないか。

吉田建設課長 今後、街

路灯設置を、市の総合振興計画に盛り込みたい。

問 私はこれまで市の各積み立て基金の中で、名ばかりの基金については、基金の整理統合を行い、市の大切な財源は有

効に使うよう提案してきた。これまで一部は実施されたが、まだ不十分ではないか。

市長 ご指摘の点は、今後も見直しを進めていきたい。



耐震化対策が急がれる校舎

店舗改装利子補給制度の見直しと新利子補給制度の設置は

市長／限度額を含めて検討していく



海野 隆平 議員

海野議員 国内・曾於市内の中小零細業者の景気の動向をどのように把握されているのか。

池田市長 国内においては、一昨年のアメリカのサブプライム住宅ローンやリーマン証券の問題を発端とする世界的経済不況の中から脱しきれない。依然として厳しい状況に変わりのないものと考えている。

本市においては、8月10日から11日の2日間、市内28企業を訪問し、現在の経営状況について調査した。

「かなり厳しい状況である」とする経営者が多く、企業としても「我慢の時期である」と認識されている。

問 店舗改装利子補給制度の利用状況と実績は。

市長 過去3年間の商工会員の設備投資に対する

利子補給補助金の交付状況は、平成18年度15件で27万5530円、平成19年度26件で51万3530円、平成20年度23件で60万5500円となっている。

問 設備資金、運転資金を対象とする、実情にあった新たな利子補給制度の設置について見解を聞きたい。



商店街に活性化を

市長 現在、緊急経済対策商工業借入金保証料補助金交付要綱を策定し、

平成20年10月31日以降の借入者を対象者として助成している。

期限が平成22年3月31日までとなっており、新たな利子補給制度については、限度額を含めて今後検討していきたい。

新型インフルエンザの流行と対策は

問 新型インフルエンザが国内に広がりを見せているが、市長の見解は。

市長 今回の新型インフルエンザは弱毒性ではあるが、感染力が強くと市民の生命、生活を守るため感染予防と感染拡大を阻止することが重要と考えている。

問 県内、曾於市内の発生状況は。

市長 9月7日現在、県内で75件の集団発生がある。曾於市内については、集団発生はないが家庭内感染が4件、現在1人が自宅療養中である。



新型インフルエンザ予防策

問 予算面と合わせた今後の対応について。

市長 9月補正で525万4千円をお願いした。また行政機能を維持、継続するための市役所業務継続計画を策定中である。

高松地区へのスーパーニシムタ出店増床計画の概要は

問 増床計画の概要は。

市長 末吉町諏訪方字宮園の32筆の田を造成し、

34,690㎡の敷地面積に売場面積は9994㎡の計画となり、駐車台数は650台、営業時間朝8時から深夜0時まで、予定売上高は30億円、従業員は約130人を予定している。

問 増床計画に伴う市の対応について。

市長 近日中に関係団体と意見交換を行い、その結果を踏まえて慎重に対応していきたい。

市長の所信表明の フラワーパーク整備とは

市長／合併記念公園として整備したい



原田 賢一郎 議員

原田議員 職員数の抑制と本庁、支所方式への移行とあるがどのようなことか。

池田市長 職員数の抑制は、平成18年に策定された定員適正化計画に基づき適正化に努める。本庁、支所方式の移行は、合併



楽しめるパークゴルフ

後5年を経過した時期を
目途に、末吉支所を曾於
市役所本庁に移行し、大
隅、財部支所については
現行の総合支所方式を維
持しながら、段階的に見
直しを行っていく。

問 観光、レクリエーシ
ョンの振興として仮称パ
ークゴルフ、フラワー公
園の整備を図るとあるが、
その内容は。

市長 パークゴルフに限
定しているものではない。
フラワー公園の整備は、
市の花つつじを中心に合

併記念公園として整備を
したい。

今後、多くの方々の意
見を参考にしながら、場
所、規模等を決定し、数
年をかけて実施していく。

問 老朽化した学校施設
の整備や中学校の統合と
あるが、その具体的な内
容は。

市長 学校施設の整備は
耐震診断調査の結果や建
築年数を見ながら整備を
する。

財部の3中学校を1校
に、末吉の2中学校を1

校に前向きに統合計画を
進める。

問 仮称健康ランドの設
置とあるが、その内容は。

市長 末吉老人福祉セン
ターの建て替えで、全市
民が利用できる福祉、健
康全般まで多様なニーズ
に対応できる施設で、場
所は曾於市民プール及び
メセナ会館周辺の市所有
地を考えている。

問 長寿祝金を平成22年
度から節目支給の見直し
とあるが、その内容は。

市長 70歳から5歳き
ざみで75歳、80歳に支給
90歳以上は全員に支給、
100歳到達者への祝い
金、最長寿者への祝い金
を検討している。

平成22年度の新基準
で行えば76歳、77歳、86
歳、87歳、88歳の方が支
給されないことになるの
で、これは調整して支給
する方向で検討する。

税制改革は

問 暫定税率廃止後、曾
於市に与える影響は。

市長 暫定税率の廃止分
が減収になるのか、これ
にかわる新たな財源措置
があるのか今のところわ
からない。

住宅行政は

問 均衡ある発展のため
大隅町坂元地区にベッド
タウン化を図るべきでは。

市長 坂元ウッドタウン
に造成した9区画のうち
4区画が残っているので、

完売に努力しながら希望
者の把握をし、無駄使い
にならないよう努めてい
く。

問 大隅町菅牟田地区に
一戸建て住宅の建設を。

市長 菅牟田地区の市管
住宅の10戸のうち7戸が
入居している。空き家の
状況を調査しながら住宅
建設の検討をしていく。



築29年の菅牟田住宅

地域活性化をどう進めるか

市長／地域の特性を活かしながら
支援したい



吉村 幸治 議員

道路整備は

吉村議員 基本的な考え方、具体的な取り組み、今後、さらにもどのように進めていくか。

池田市長 旧3町の均衡ある発展を目指し、計画に基づき15車線のな道路整備により改良延長を図る。また側溝整備を含めた道路維持管理にも努めていく。

問 生活道路として県道、市道等の悪い所の手直しや高所やぶ払い等の思い切った平成22年度予算ができないか。



高所やぶ払いの予算を

市長 現在、自治会などをお願いしているが、高所作業の予算は年々増している。一度にはできないので、厳しい所は自治会長などより要望して頂きたい。

住宅建設は

問 今後どのように進めていくか。

問 地域で共生・協働で作業等ができるところは、機械借り上げ料等の助成ができないか。

市長 今は補助制度がないが、今後必要であると思うので検討したい。

問 地域活性化のため住民の要望に応じた計画的な地域振興住宅建設も重要なことだと考える。

問 農村部に若者のための地域振興住宅はできないか。

市長 市外からの参入が基本となっているが、市営の状況を調査し、住宅がなく望む声が多いようならそれは考えたい。今のところ振興住宅を中心に考えている。

農林畜産業支援を

問 農林畜産業支援をさらにどのように進めていくか。

市長 それぞれの基本的な考え方のもと、今ある課題を追求し、地域の特性を活かしながら、補助制度を複合的に活用し支援していきたい。

問 地域の農地を守るため、市のモデルとして、大峯地区集落営農組合が発足して1年経過するが、どのように評価しているか。



大峯地区集落営農組合（財部町）

市長 曾於市のモデルであり課題を一つずつ解決するため、対策を講じながら進めている。なお必要な組織であり、市内に取り組みが広がってほしい。

むらづくり活動支援を

問 補助の活用と採択要件に満たない場合は、市単独の支援も続けていきたい。

問 地域づくりにがんばっているところに、今後も補助事業や人的体制の応援をしてもらえるか。

市長 具体的なことは今すぐは言えないが、補助事業等を含んで検討していく。

問 地域活性化をどのように進めていくか。

市長 農林業振興の基礎的単位である集落や複数の集落を合同した地域の振興を図るため、国・県

今後の4年間の池田市政は

市長／民間活力等の導入も図る



山下 諭 議員

山下議員 今後4年間の池田市政の指針・施策となる所信表明について問う。民間活力の導入とあるが、具体的には何か。
池田市長 民間への事業委託、指定管理制度の導入、民間のノウハウ活用を考えている。



民間活力でにぎわうレストラン四季祭
(道の駅すえよし)

農林業資源の整備とは

問 農林畜産資源の流通、

問 末吉町柳迫地区には民間の住宅が多く建築されている。
市街からの転入者に家賃の一部を助成することも民間活力の導入と見解は。
市長 多様な方法があるので、事例に沿って検討する。

加工、販売の整備とあるが市はどのように対応できるのか。商工業振興には言及されていないが。
市長 曾於市はこの生産額は大きい。「そお」の名前は全国に知られていない。そお市ブランドの確立と併せて、市でできる地域の名が出る整備の方法を検討していく。商工業振興には言及していかなくても振興に努めていく。

公園の整備場所は

問 パークゴルフ、フラワー公園の整備構想は。新規建設であれば、交通の便、近隣観光地の有無、宿泊場所等の条件が整わなければ市外からの客は見込めない。財部の悠久の森南西側には、この条件ピッタリの台地がある。
市長 具体的な場所や規模建設年度は未定である。市の花つつじは考えている。市民の意見を参考に合併記念の公園として計画する。

県道改良の状況は

問 改良等の必要な場所は、関係機関に要望していくとある。塚脇財部線、特に帯野集落と大川原信号機付近の改良見通しは。
市長 要望は曾於地区土木協会要望として、継続して整備を要望していく。塚脇財部線の管内延長は12kmで、中野上村地区の600m、帯野地区の700m、計1300mが未改良区間として残る。

大川原信号機付近は、通学路でもあるので引き続き改良を要望していく。

長寿祝金見直しの方法は

問 市長選後、支給開始年齢は別として、全員支給を望む声が多いと感じている。
気力も体力もなくなっ
てからもらうよりも、元気な時にもらい、金額は少なくとも、孫たちに少しでも与えられたら、孫も喜ぶし自分も楽しいと言われたことには答えが

できなかった。

来年から長寿祝金は節目支給での見直しを実施すると表明されている。その方法は。

市長 合併前は3町とも70歳からの全員支給であったが、合併協議で節目支給となった。見直しは節目支給を尊重し70歳から5年きざみの節目支給とし、90歳以上を全員支給とすることで検討している。他に100歳到達者、最長寿者へのお祝い金も考えている。



改良が望まれる県道塚脇財部線

園芸・畜産・林業振興は

市長／施設の団地化を図る



松田 司 議員

松田議員 畑地かんがい事業による水利利用をした10年後のビジョンの具体策と年次計画は。

池田市長 曾於東部地区では、10年後の目標を設定し、目標達成に向けた具体策として路地品目ではさつまいも、かぼちゃ、ごぼう、大根、白菜、キャベツ、施設品目ではスプレー菊を推進、面積拡大と施設の団地化を図る。

問 園芸振興会との連携をどのようにするか。

市長 市の園芸振興を図るために、生産技術、経営農家の経営安定と所得向上を図る目的で、旧町

単位の振興会が一本化され、園芸振興に水利利用技術実施団の設置、モデル散水器具の設置及び実演等を実施し園芸振興を図る。



曾於市園芸振興会設立総会

問 県は本年度から耕畜連携係を設置しているが、曾於市の取り組みは。

市長 市では、経済課、農業委員会、畜産課等が連携し、転作水田や耕作放棄地等の利活用を積極的に図るため、国、県等の研究成果を見極め、関係課の連携を密にし、耕畜連携した自給飼料の生産拡大を図りたい。

問 有機センターの設置についての考えは。

市長 有機センターの堆肥製品の販売拡大と有機質堆肥を市内農家へ還元するため、中継所を大隅、財部地内に建設を検討したが、有機センター営業開始以来10年が経過し、ほぼ全ての設備が経年劣化し早急な修繕が必要なため、中継所建設は先送りし、センターの正常化を図りたい。

問 林業特産品のしきみ、さかきの販売現況について。

市長 特用林産組織については、3組合があり、市内の一本化を図り、林業での所得向上及びブランド化を目指して、平成18年市特用林産組合を設立したが、思うような活動をしていないのが現状である。今後、共販の確立、販路拡大とブランド化を図りたい。

道路行政について



早い改良が望まれる市道河原飛佐線（大隅町）

問 道路行政について、河原飛佐線の現況と今後の改良計画は。

市長 市道河原飛佐線は、県道志布福山線のバイパスの道路であり、延長8km、河原菅牟田まで4km整備済みである。菅牟田浅井間は、県が代行事業で23年度までの計画であり、浅井飛佐入り口まで1300m、市が23年度まで整備し、残り1000mについては、

県に継続採択を要望し早期完成を図りたい。

問 高所作業車購入について

市長 市道沿線の杉や雑木・竹等が、市道内に覆いかぶさり、交通の妨げになっている。高所伐採は、道路維持作業員やシルバー及び業者委託で今後も実施していきたい。